

土木学会

選定映画報告

視聴覚教育委員会

1. 第6回選定映画審査会報告

日 時：昭和44年10月11日（土）14.00～18.00
上映本数：6本（衛生工学関係）

今回は「衛生工学」関係の映画が上映され、審査委員会委員のほか建設省 井前勝人、厚生省 南部祥一の両氏にご足労を頂いた。審査の結果次の2編が選定された。

2. 選定作品

産業廃水ととり組む

（カラー・16mm・スタンダード・20分）

企画：通商産業省企業局

製作：日本シネセル株式会社

○製作意図・対象

この映画は産業排水に対する国の施策と、各種の排水処理技術の紹介と実際例を、県・市および現場の担当者の教育を目的とし、最後に躍進する臨海工業地帯での大規模な事前調査を描いている。

○内 容

昭和33年6月、江戸川における流血事件を契機に水質保全法と工場排水法が制定されたことから、工場排水の調査の実際を紹介し、通産省の各試験所で研究開発している活性汚泥法等の新しい技術の説明を中心に、実際企業で実用化している例およ

び四日市の共同処理場における処理方法を描いている。なお、工業地帯先の海で、大規模な希釈拡散実験、資源技術試験所の大形水槽模型による実験等もあわせて紹介している。

水質汚濁問題を広くあつかった映画としての価値はあるが、処理技術が完成されているような印象を与えるところも多い。排水を現水準の技術で処理しさえすれば無害となるといった素人受けのする誤まった知識を与えてしまう危険性も持っている。また、通産省の研究機関のコマーシャルめいた箇所もあり、公共下水道やその他の排水対策との関連についての説明も不十分であった。

いくつかの欠点はあるが、廃水処理技術を平易に解説しており、学校教育にも十分応用できるものと考えられる。海湾における拡散実験などは多くの人の興味を引くであろう。

青空を守る技術

（カラー・16mm・スタンダード・20分）

企画：通商産業省企業局

製作：日本シネセル株式会社

○製作意図・対象

この映画は、大気汚染の現状および汚染防止のための、国の対策、研究、さらに未然防止対策を紹介し、工場、地方公共団体等の公害担当官の知識向上を目的とするものである。

○内 容

技術的内容のものであり、各地の降下ばいじん量、および亜硫酸ガスの汚染の実態を紹介し、ばいじん対策として、集じん装置、各種ばいじん装置の構造と防止努力を、つぎに亜硫酸ガス対策として、火力発電所の集合煙突の実例、排煙脱硫技術および通産省工業技術院の各種脱硫技術の研究開発の姿、重油の直接脱硫技術を描くとともに、新規工業地帯の大気汚染の未然防止を目的とする調査方式を紹介し、工業立地を公害の面から適正に行なう趣旨を述べるものである。

大気汚染についての技術をよくまとめてある。風洞実験での説明も面白い。PR映画として広く利用されることを期待したい。

選定映画応募作品募集について

本選定映画の趣旨は、現在、各官公庁や民間会社等で各種の土木関係の映画が製作されておりますが、いつ、どこで、どんな映画が作られているか、ごく一部の人にしか知られずそのまま死蔵されるというケースが非常に多くなっております。そこで本選定映画制度を作り、より多くの人達の利用の便をはかるため選定映画の利用指針を作成して視聴覚教育の促進をはかりたいと考えております。

本選定映画の趣旨をご理解頂きましてお手持ちのフィルム、または新作フィルムがございましたら、ぜひ下記までご応募下さいますようお願い致します。また、本選定映画についての問合せ事項がありましたらご連絡下さい。

記

応募先・連絡先：土木学会視聴覚教育委員会（事務局編集課気付）

東京都新宿区四谷一丁目 〒160 TEL 03 (351) 5130（編集課直通）